

【様式1】

市議会における政策提案とその対策等					
〔一般質問〕					
担当課	まちづくり課	議員名	岩崎 義弥 議員	提案月	R 元.9
<p>〔提案事項〕</p> <p>集落支援員は、地域の不足するマンパワーを補うには非常に柔軟性がある制度であり、交付税措置による財政支援が受けられる有利な制度であると考えるので、導入してはどうか。</p>					
<p>〔現況等〕</p> <p>集落支援員については、導入を検討しており、先進事例や県内市町の導入状況等について調査を行っている。</p>					
<p>〔政策提案を受けての対策〕</p> <p>集落支援員については、地域の課題解決やコミュニティの強化、住民が地域を維持し続けるための体制づくりにつながる制度だと考えている。</p> <p>地域のニーズを把握し、集落支援員の活動内容や活動拠点等を検討したうえで、なり手の確保など、住民の意見を伺いながら、活用について検討していきたいと考えている。</p>					
<p>〔対応状況・令和2年3月31日現在 完了〕</p> <p>伊万里市においては、「住み慣れた地域で将来にわたって元気に安心して暮らせるまち」をめざし、住民による自主・自立的な取組みを進める必要があると考えており、令和2年度からまちづくり運営協議会の運営支援（事業の企画・立案や資料作成、情報発信、まちづくり計画の実施状況の管理等）や区長や民生・児童委員等と連携した地域の巡回による状況把握、課題整理と解決のための住民の話し合いの場づくりを活動内容とする集落支援員をモデル的に配置することとし、波多津町と二里町を選定した。令和2年4月1日付で両地区に地域づくりサポーターの名称で各1名配置する。</p>					